



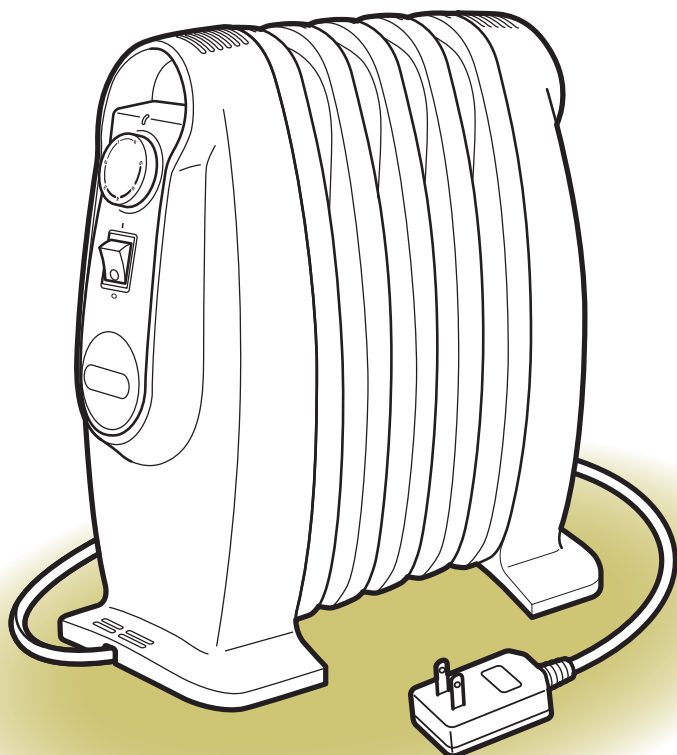
Electric Oil-Filled Heater デロンギ オイルヒーター

型式番号

NJM0505

家庭用

※本体の型式番号「NJM0505」の後に続く
ハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。



取扱説明書

この度は、デロンギ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

また、お読みになった後は、大切に保管してください。本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

目次

安全上のご注意	2 ~ 3
設置場所	3
各部の名称とはたらき	4
暖房運転の基本操作	5 ~ 6
故障かな?	7 ~ 8
お手入れ／保管のしかた	8
電源プラグ・コードの 安全チェックシート	9
仕様	10
アフターサービス	11
保証規定	裏表紙

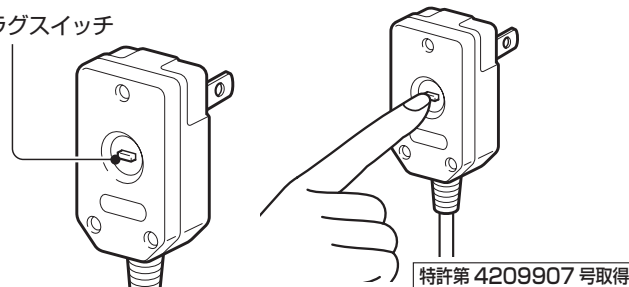
お客様情報登録のご案内

本製品の保証はお客様情報のご登録後に有効となります。別紙の『メーカー保証用お客様登録のご案内』をお読みの上、**お買い上げ日から1カ月以内**にご登録をお願いします。

安全プラグの確認

ご使用になる際に、ヒーターの電源スイッチ上部を押し、サーモスタットのつまみを最大目盛（6）まで回してもパイロットランプが点灯しない場合は、電源プラグスイッチをカチッと音がするまでしっかりと押し込んでから、本製品をお使いください。

電源プラグスイッチ



安全上のご注意 < 必ずお守りください >

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



指示

電源プラグは、交流 100V のコンセントに根元まで確実に差し込む

(火災・感電の原因)

- ゆるんだコンセントは使用しない。
- コンセントや配線器具の定格を超えた使いかたをしない。
- 海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない(日本国内専用)。

電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的に取り除く

(火災の原因)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する

(火災・感電・やけどの原因)

故障・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

お子様や自分で本機の温度調整ができない方には必ず付き添う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

- ※ 小さなお子様、乳幼児、自分で温度調節ができない方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。



禁止

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない

(火災・やけど・けがの原因)

- 電源を取るコンセントのすぐ下で使用しない。
- テーブルや机の下で使用しない。
- スプレー缶などを本体の近くに置かない。

逆さ・横倒し・立てかけて使用しない

(火災の原因)

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)



禁止

電源プラグ・コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない。
- コードを無理にひっぱったり、束ねたまま使用したりしない。
- 本体表面など高温部や、他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社テクニカルセンターへ点検・交換を依頼してください。

電源コードをスタンドに巻き付けたまま使用しない

(火災の原因)

- 余った電源コードは残さずスタンドから解き、伸ばしたまま使用する。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。

運転中に電源プラグを抜き差ししない

(火災・感電の原因)

収納の際、電源コードをスタンドに強く巻かない

(火災の原因)

※ 8 ページ「収納・移動時の電源コードの巻き方」参照

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(感電・けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

分解、修理、改造をしない

(火災・感電・やけどの原因)



覆い掛け禁止

本体をふとんや衣類で覆わない

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途で使用しない。

安全上のご注意 < 必ずお守りください >



注意



指示

決められた設置方法に従う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

- 壁やコンセントから 20cm 以上離す。
- 人や家具からは 1m 以上離す
- 毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災・感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う

(感電・けが・やけどの原因)

本体が転倒したときは使用を中止する

(火災・感電・けがの原因)

転倒時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターへ点検・修理を依頼してください。

電源プラグは、交流 100V のコンセントに根元まで確実に差し込む

(火災・感電の原因)



禁止

コンセントや配線器具の定格を超えた使いかたをしない

(火災の原因)

水・湿気の多い場所で使用しない

(火災・感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使用しない。
- 硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害のおそれのある場所で使用しない。

本体に水などの液体をこぼさない

(火災・感電の原因)

犬や猫などのペットの暖房に使用しない

(火災の原因)



接触禁止

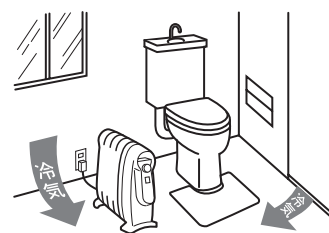
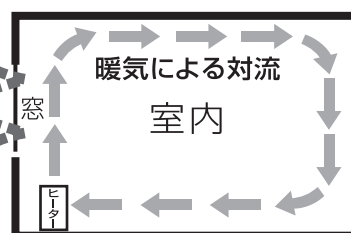
運転中および停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

冷気の侵入対策：効果的な設置場所

室内で、冷気の侵入が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、冷気の侵入を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

屋外（冷気）



各部の名称とはたらき

〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル（★）を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはフィン内を循環、効率良く放熱し、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。

★オイルの補充・交換は不要です。

廃棄の際は、11 ページをご参照ください。

取っ手●

本体を移動する／持ち上げるときは、必ず後部の取っ手にも指をかけてください。

サーモスタット● (ツマミ)

室温（＝適温）の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ツマミを右に回す（目盛の数字が大きくなる）ほど温度が高くなります。

電源スイッチ● (500W)

電源 { 入▶上部を押し込む。
切▶下部を押し込む。

パイロットランプ● (スイッチ内)

電源を入れると点灯します。点灯時は電源が入っている（ON）状態を表わします。サーモスタットの設定により消点灯を繰り返します。

ラジエーター水平断面図



ラジエーター／フィン●

取っ手●

通気口●

スタンド●

電源コード●

使用しないとき（収納・移動時など）は、前後のスタンドに巻きつけておきます。（8 ページ参照）

電源プラグ● (安全プラグ)

コンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために復帰型温度過昇防止装置が内蔵されています。



ヒーターを移動する際のご注意

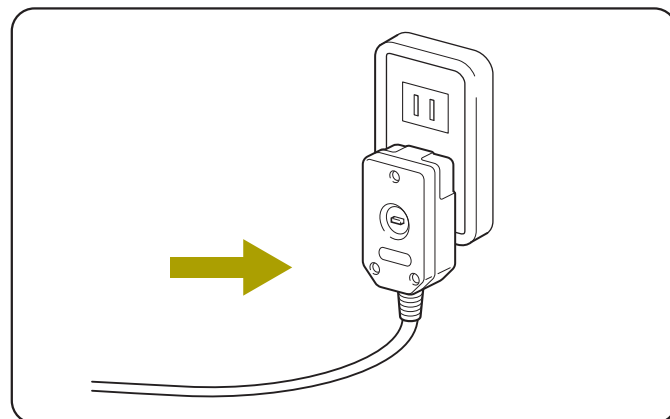
必ず、両方の取っ手に指をかけ、本体を持ち上げて移動してください。引きずると、床面や敷物を傷つけたり、スタンドが破損する場合があります。

暖房運転の基本操作

1 電源プラグをコンセントに差し込む

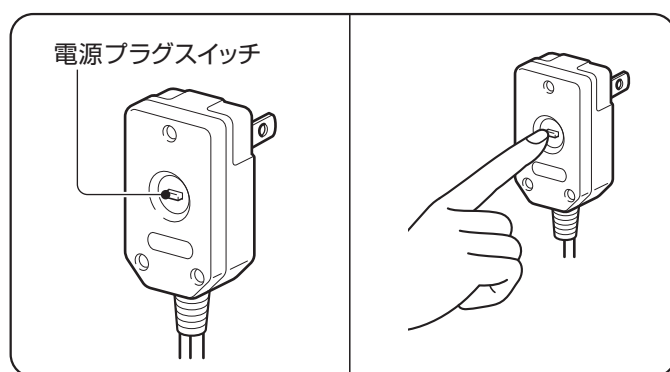


壁面コンセントに根元までしっかりと入れてください。また、**電源コード**は、スタンドから解き、伸ばした状態でご使用ください。



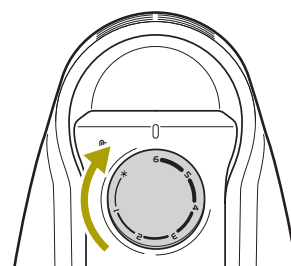
安全プラグを確認する

電源プラグスイッチが作動していると暖房運転ができません。電源プラグを差し込んで下の手順②、③を行ってもパイロットランプが点灯しない場合、電源プラグスイッチをカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。



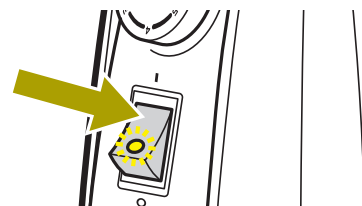
2 サーマスタットを最大にセットする

サーモスタットのツマミを右いっぱいに最大目盛（6）まで回し、出力レベルを最大にセットします。



3 暖房運転を開始する（電源を入れる）

電源スイッチ上部を押し込みます。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。



4 サーマスタットを設定する

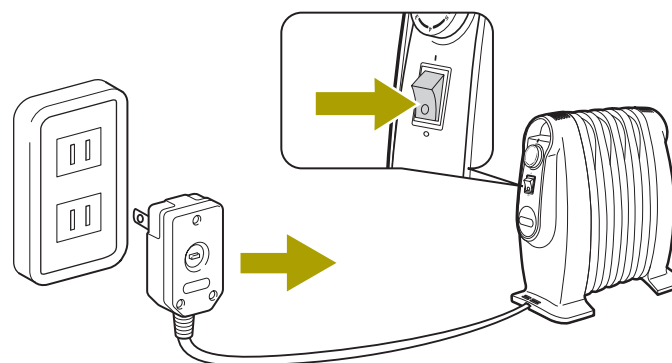
お望みの温度（＝適温）になったら、サーモスタットのツマミをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源のON / OFF を繰り返しながら適温を保ちます（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）。

▶ 適温を上げるときは、右（時計回り）に回し、下げるときは左（反時計回り）に回します。



5 暖房運転を停止する（電源を切る）

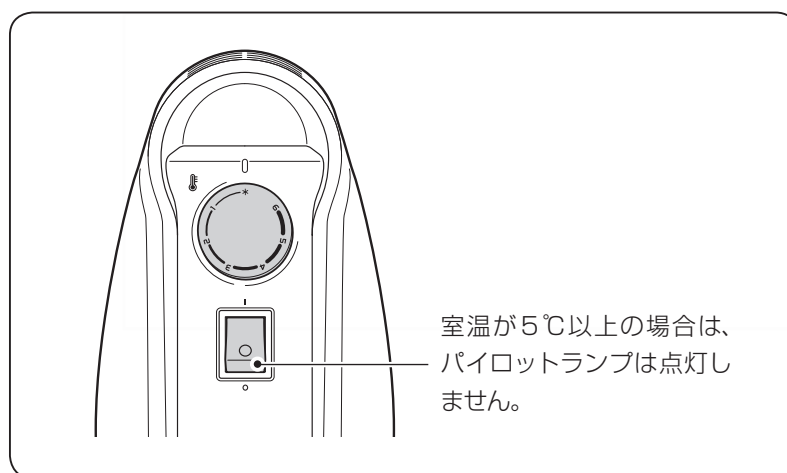
電源スイッチ下部を押して電源を切り（→パイロットランプ消灯）、電源プラグをコンセントから抜きます。



凍結防止機能

サーモスタットのツマミを＊マークに合わせ、電源を入れておくことで、凍結防止機能が働きます。室温が5℃以下になった場合に、室温が約5℃になるようにヒーターが運転を始めます。

室温の下がりすぎを防ぎます。



故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、電源スイッチ下部を押して電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 11 ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電源スイッチ上部を押してもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが点灯するまで右（時計回り）に回します。お望みの温度（適温：体感温度）になったら、ダイヤルをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。
		サーモスタットのダイヤルの目盛を今より大きい数字に合わせます。
	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社テクニカルセンター（11 ページ）にご連絡ください。（詳しくは 5 ページ参照）。
電源スイッチ上部を押すと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社テクニカルセンター（11 ページ）にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが消えるまで左（反時計回り）に回します。止まるまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（11 ページ）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ・コードが異常に熱くなる	電源プラグ・コードが正しく接続されていない	「電源プラグ・コードの安全チェックシート」（9 ページ）に従って、電源プラグ・コード、および壁コンセントの点検をしてください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置）によって異なります	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを、右（時計回り）に止まるまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生する冷気の侵入を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取り扱いください。 電源スイッチ下部を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社テクニカルセンター（11 ページ）にご連絡ください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
使いはじめの臭い		使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。
パチッパチッと天ぷらをあげるような音がする		外気との温度差によってラジエーター内部で発生した結露が熱くなったオイルに落ちた時の音です。異常ではありません。
まれに「カンカン」や「キーン」といった金属音がする		本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。
パネル内に青白い光が見える		周囲が暗いと、操作パネルの内部に青白い光が見えることがあります。異常ではありません。

お手入れ／保管のしかた



- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない

お手入れ

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁との隙間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- 壁のコンセント（刃受）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやホコリは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。（9 ページ）

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。



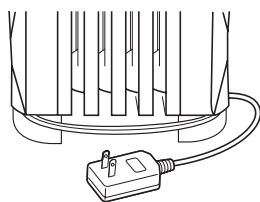
洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったホコリを取り除いてください。



- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置いたりしない。



収納時の電源コードの巻き方

前後のスタンドに巻きつけておきます。

※ 暖房運転をするときは、必ず電源コードをスタンドから外し、本体に触れないようにしてください。



電源コードをスタンドに強く巻かないでください。

電源プラグ・コードの安全チェックシート

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

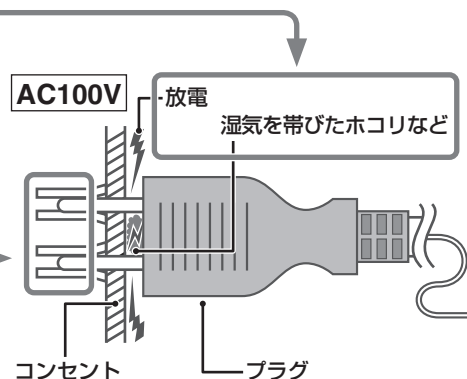
■トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにホコリが溜まると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

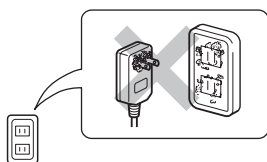
トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます(8ページ参照)。

■電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形・変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



☑ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？



電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

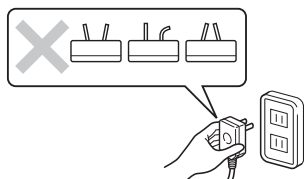
定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。

☑ 電源コードに重いものが載っていませんか？

家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。

☑ 電源プラグが変形していませんか？



曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受けを変形させる原因となります。

ペンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社テクニカルセンターにプラグの交換をご依頼ください。

☑ 電源コードを束ねたままではありませんか？

ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度(約40℃)になります。電源コードを束ねたままでお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

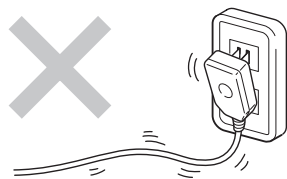
余った電源コードは残さずスタンドから解き、伸ばしたままお使いください。

☑ 電源コードをスタンドに強く巻きつけすぎていませんか？

電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

電源コードをスタンドに強く巻きつけないでください。

☑ コンセントにガタツキはありませんか？



刃受けのばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

☑ コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用していませんか？

コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用すると、発熱による発火の恐れがあります。

コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用しないでください。

仕様

製品名称	デロンギ オイルヒーター
型式番号	NJM0505
適用畳数	3 畳まで
電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
消費電力	500W
外形寸法／質量	長さ 37.5cm × 幅 17.5cm × 高さ 38.5cm／5.5kg
安全装置	転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置（本体内）・ 復帰型温度過昇防止装置（電源プラグ内）

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



お知らせ

当社の WEB サイトでは、オイルヒーターをより効果的に使う方法や電気代の目安となるシミュレーションなどをご案内しています。



オイルヒーター特設サイト

<http://oilheater.delonghi.co.jp/>

メーカー保証用お客様登録のお願い

より良いサービスをご提供することを目的に、本製品では**メーカー保証を有効にするために、お客様の情報を当社に登録していただく仕組み**になっています。

別紙のご案内用紙記載の手順にしたがって、製品**お買い上げ日から1か月以内**に登録を完了していただけますようお願いいたします。

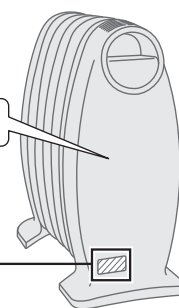
なお、ご登録に必要な製品のシリアル番号は、製品本体で確認いただけます（右図）。

お客様登録が完了したお客様には、抽選で当社製品などをプレゼントするアンケートにご参加をいただくことができます。

アンケートの要綱やプレゼント内容については、ご登録後にお知らせする URL（ウェブページ）でご覧いただけます。

バーコードシール内
製品シリアル番号
(8ケタ)

背面部



アフターサービス

使用中に異常(★)が生じた場合

直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな?」(7～8ページ)で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 操作パネルや放熱板に、水などの液体をこぼした
- 本体に強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合

- 万一故障した場合は、修理をご依頼される前に、別紙「メーカー保証用お客様登録のご案内」に『型式番号とシリアル番号』、『お客様登録番号』、『お買い上げ時のレシート(領収書、配送伝票など)』、『ご氏名とご連絡先、故障状況』がもれなく記入・貼付されていることをご確認ください。
 - ・製品と「メーカー保証用お客様登録のご案内」原紙を、お買い上げの販売店にご提示になり、修理をご依頼ください。
 - ・お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、上記をお手元にご用意の上、当社テクニカルセンター(下記)へご相談ください。
- 本製品のメーカー保証範囲は裏表紙の保証規定によります(注記参照)。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります(補修用部品保有期間内)。
(注記) 別紙記載の手順により、お買い上げ日から一か月以内にお客様情報の登録を行ってください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター(下記)にお問い合わせください。

デロンギ再資源化システムについて

ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンター(下記参照)までお送りください。

素材ごとに分別し、再資源化いたします。



- 送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。
- 梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。
 - ※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。
 - ※ 送り先については、事前にお電話またはホームページ(下記)にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または当社テクニカルセンター(下記)にお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～17:00)

コールセンター Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ(URL) — <http://www.delonghi.co.jp/support>

メーカー保証を受けるには、お客様情報の登録が必要です。

別紙『メーカー保証用お客様登録のご案内』に従って、お買い上げの1か月以内に、当社オンライン登録システムにお客様の情報をご登録ください。ご登録を完了していただけていない場合、下記の保証規定が適用されませんので、ご注意ください。

【お知らせ】本製品のシリアル番号は、製品本体背面のシールに記載されています(10ページ)。

個人情報の利用目的について

当社「個人情報保護に対する基本方針」(当社ホームページ <http://www.delonghi.co.jp/policy/privacy-policy>)に掲載)に則り、ご登録いただいたお客様の個人情報を、下記目的の範囲内で利用いたしますのでご了承ください。

- お買い上げ製品のアフターサービス・安全点検に関わる情報提供
- 当社製品のカスタマーサポートに関わる情報提供(各種お問い合わせへの対応など)
- 当社新製品に関わる情報提供

ご登録いただいた個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは、当社テクニカルセンター(下記)でうけたまわります。

保証規定

■保証規定の適用

本保証規定は別紙に従って、当社へお客様登録をいただき、当社からお客様登録番号を入手したあとに有効となります。
なるべく早くご登録をいただけますようお願いいたします。

■保証の範囲

製品名：デロンギ オイルヒーター

型式番号：NJM0505

保証期間：お買い上げ日より3年間 保証対象：本体

■レシートの保管

保証を受ける時に必要となりますので、お買い上げ時に販売店から発行されたレシート(領収書や配送伝票でも可)を、なくさないよう保管してください。

本保証は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、上記保証の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から上記保証期間内に故障が発生した場合は、**製品に別紙「メーカー保証用お客様登録のご案内」**(お客様登録番号とシリアル番号の記入、レシートなどが貼付してあることをご確認のうえ、用紙裏面に所定の項目をご記入ください)を添付して、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前に下記のデロンギ・ジャパン テクニカルセンターにご相談ください。
3. ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社テクニカルセンターに直接ご相談ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
なお、有料修理の場合の送料はお客様さまのご負担となりますので、ご了承ください。
イ. 事前にお客様登録がない場合、または、お買い上げ時のレシートが提示いただけない場合

ロ. 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷

ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障および損傷

ニ. 火災・公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)・異常電圧・定格外の使用電源(電圧、周波数)および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷

ホ. 一般家庭用以外(たとえば業務用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷

ヘ. お客様登録の際に、意図的な虚偽事項のご登録をされた場合

ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

5. 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(The warranty is valid only in Japan.)

6. お客様登録時に発行するお客様登録番号は再発行いたしませんので、お買い上げ時のレシートとともに、大切に保管してください。

●本保証規定は記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証規定によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパン テクニカルセンターにお問い合わせください。

●補修用性能部品の保有期間につきましては「アフターサービス」(11ページ)をご覧ください。

お客様登録番号

お客様登録時に当社より発行したお客様登録番号を下に記録してください。

DeLonghi

デロンギ・ジャパン株式会社 テクニカルセンター

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。